

目標達成計画

作成日 : 令和3年 4月 7日

評価結果

市町提出日 : 令和3年 4月 14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束等適正委員会は、3ヶ月ごとに必ず研修を実施しておりますが、今後施設の拘束の指針を作成し、それを元に職員とも再度相談・話し合いをしていき、より良い施設にしていくのが課題となります。	身体拘束についてのマニュアル化を明確にして全職員が周知出来る指針を作成する。	本社や施設全職員とも話し合い、現在の利用者様の状態もしっかりと把握し、拘束の指針を作成する。	3 か月
2	33	オープンして2年間で、看取りを行ったのは2名でした。看取りの際は、必ず主治医・家族様・管理者で集まり、主治医より細かく家族様に説明して下さります。今後、施設としての明確な方針を知って貰う為にも看取りの指針作成が課題となります。	利用開始時に本人様・家族様にも看取りの説明を分かりやすく理解して頂ける、看取りの指針を作成する。	主治医や訪問看護さんにも相談し意見交換も行いながら看取りの指針を考えていく。	3 か月
3	35	施設内で年2回は、避難訓練を行っていますが、地域の方々と一緒に合同訓練などは、した事はありません。何かあった時は、必ず地域の方々の協力が必要なので今後密着型の訓練実施が課題となります。	地域密着型施設として、地域住民の方々の協力を得ながら、一緒に合同での密着型防災訓練を実施していく。	まず、自治会長や民生委員の方としっかりと相談していき、市民センターでの地域住民の方の集会にも参加して行き、一緒に密着型防災訓練を行うにあたっての話し合いをしていく。	6 か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。